

令和6年度 あまのくらし部会 実施報告

目次

P2	目次
P3	あまのくらし部会の役割
P4	令和6年度 あまのくらし部会の取り組み
P5	部会の開催と協議内容
P6	ミーツ・ザ・福祉での様子
P13	アンケート結果
P17	市政出前講座受講の様子
P19	アンケート結果
P21	次年度に向けて

あまのくらし部会の役割

障がいのある人の地域生活を支援するための課題等について協議します。

あまのくらし部会では、災害時にも生きる地域のネットワークづくり、親の高齢化に伴う障がいのある人の自立生活や相談支援体制の整備などについて取り組んでいます。

令和6年度 あまのくらし部会の取り組み

くらし部会では昨年度行ったフォーラム「避難所シミュレーションを体験しよう!」の内容を多くの方に知ってもらおうと考えた。

今年度は「ミーツ・ザ・福祉」へ参加し、備品やパネルの展示、クイズを通して多くの方々と交流することができた。「ミーツ・ザ・福祉」とは「市民福祉のつどい」が2017年より民間委託、刷新され、毎年橘公園で行われているイベントであり、今年で8年目を迎えた。

「市政出前講座」では、「個別避難計画」や「福祉避難所」「自主避難所」等について、くらし部会委員ならではの質疑応答が行われ、さらに学びを深めた。

部会の開催と協議内容

6月	今年度の役割、取り組み等について
8月	ミーツ・ザ・福祉打ち合わせ報告、当日案の説明、役割分担について
10月	ミーツ・ザ・福祉当日の流れ、配置について、パネル作成
10/26	ミーツ・ザ・福祉 当日
12月	ミーツ・ザ・福祉振り返り、「市政出前講座」について
2月	「市政出前講座」受講
4月	今年度の振り返り、全体会について、次年度について協議

ミーツ・ザ・福祉 2024

福祉にであう 福祉とまじわる

障がいがあってもなくても楽しめるフェス /

「ミーツ・ザ・福祉」はなんと今年で8年目！
 今回も60店舗ほどの飲食・クラフト雑貨などの出店ブースに加え、
 障がい体験をしながら楽しめるコンテンツや
 ステージパフォーマンスも充実。
 会場を笑いの渦に巻き込む
 「ミーツ・ザ・新喜劇」にもご注目ください。
 みなさんにとって、きっと素敵な
 「出会い(ミーツ)」があるはず！
 今回はミーツ大交流企画も準備中。
 どなたでもお気軽にお越しください！

2024 10/26 [sat] 10:00-16:00

※開催時間内の入退場は自由です。
 ※小雨決行、荒天中止です。開催情報に関しては、
 WEBサイトや各種SNSでご確認ください。

場所
 橘公園野球場
 【尼崎市東七松町1-22】
 JR立花駅より南東に700mほど
 尼崎市役所の東となり

参加費
 無料 ※飲食物や物品の
 購入は有料です。

facebook Instagram WEB

QRコード



避難所 シミュレーション ミーツ・ザ・福祉に 参加

市から借りた防災用具

防災備蓄品



段ボールベッド



テントスペース (2M×2M・一人分)



参加者の様子





パネルの内容は…

(特) ゆめ風基金版
 「避難所運営シミュレーション」や
 福岡県大木町の
 「災害時支援ガイド」を
 参考にさせていただきました



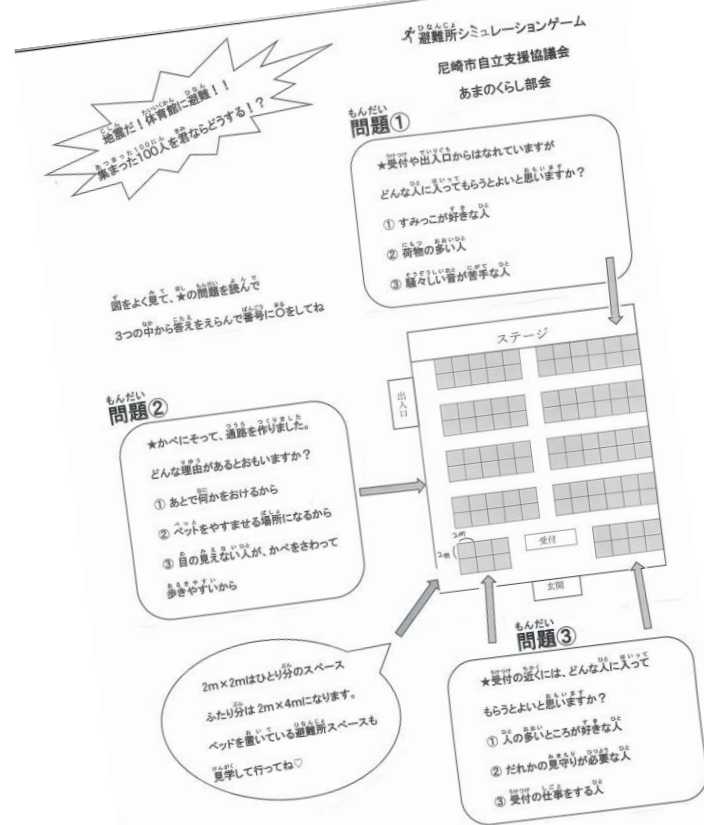
避難所シミュレーションのパネル



参加者の様子



クイズの様子





準備したアンケート
150人分全て
回答していただきました

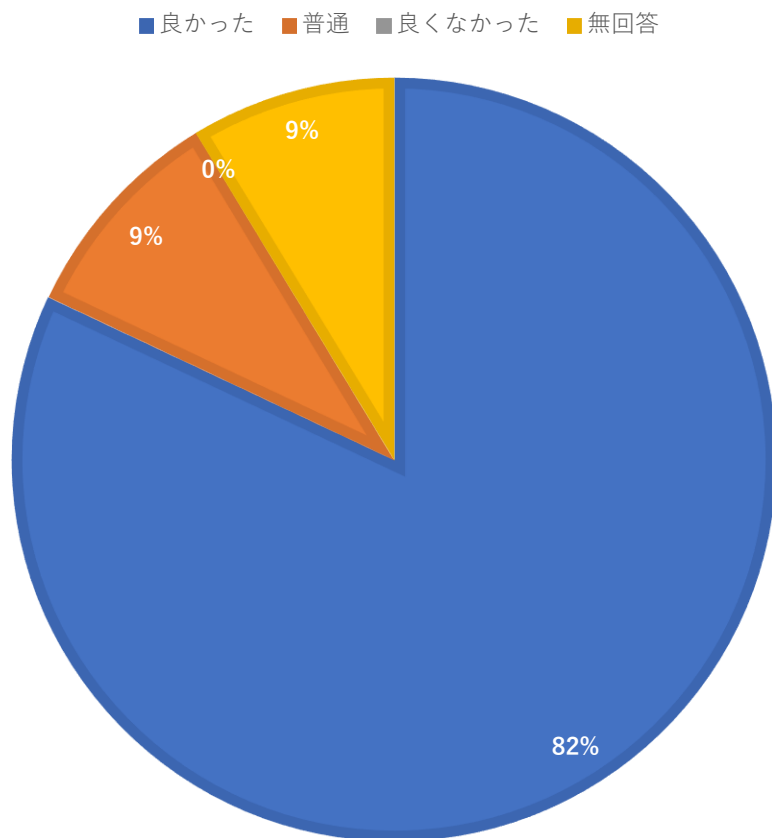


アンケート結果

① あまのくらし部会の避難所シミュレーションはいかがでしたか？
(150/150)

良かった 123人
普通 14人
良くなかった 0人
無回答 13人

避難所シミュレーションはいかがでしたか (回答数150人)

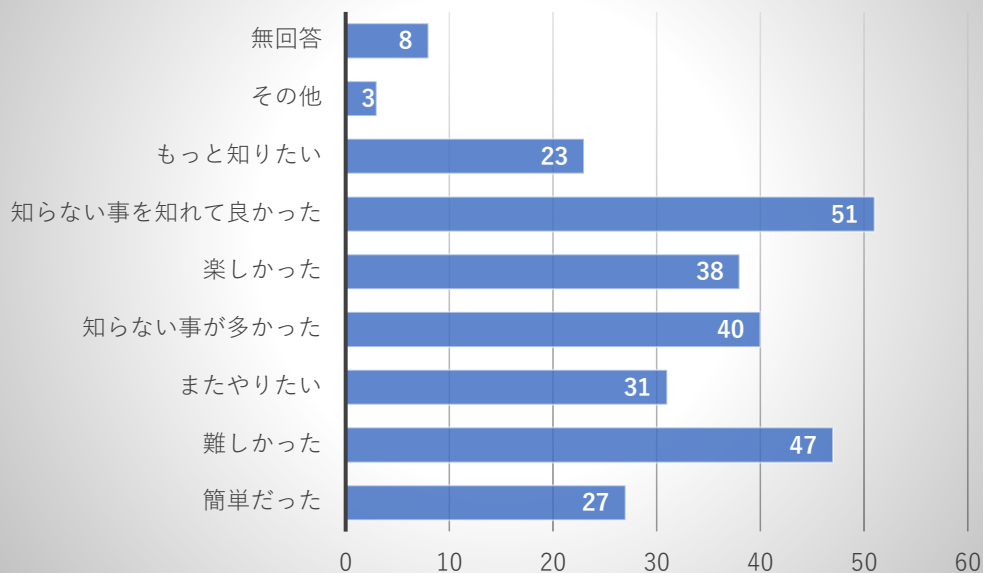


アンケート結果

②クイズはいかがでしたか？(複数回答可)

- ・無回答 8人
- ・その他 3人
- ・もっと知りたい 23人
- ・知らないことを知れてよかった 51人
- ・楽しかった 38人
- ・知らないことが多かった 40人
- ・またやりたい 31人
- ・難しかった 47人
- ・簡単だった 27人

クイズはいかがでしたか (複数回答)



(その他で出た意見)

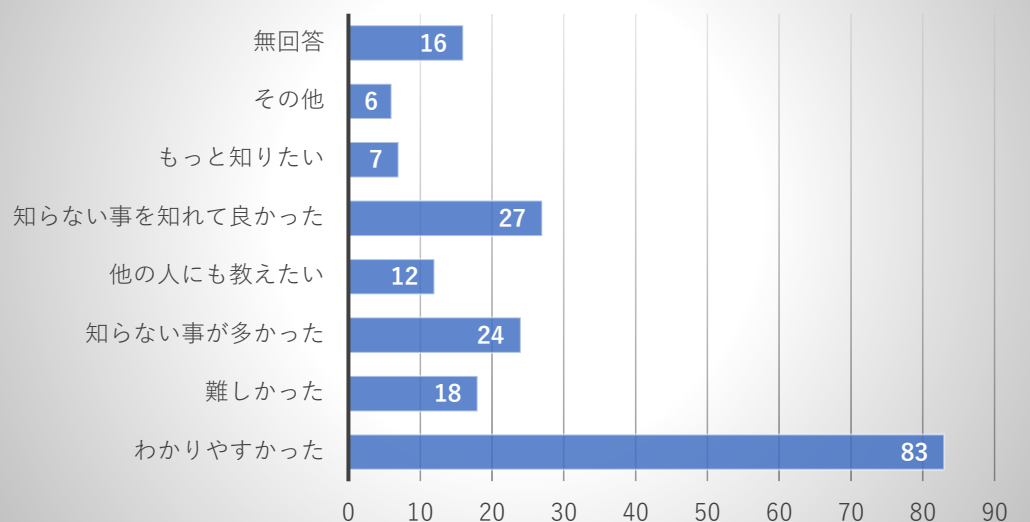
- ・言われないとわからないこともあったので、知れて良かったです
- ・良い考えだと思いました
- ・①番はひっかけ問題かなと思いました

アンケート結果

③パネルはいかがでしたか？(複数回答可)

- ・無回答 16人
- ・その他 6人
- ・もっと知りたい 7人
- ・知らないことを知れてよかった 27人
- ・他の人にも教えたい 12人
- ・知らない事が多かった 24人
- ・難しかった 18人
- ・わかりやすかった 83人

パネルはいかがでしたか (複数回答)



(その他で出た意見)

- ・見てない、まだ見てない
- ・4コマ漫画にしてほしい
(その方がわかりやすいから)
- ・字が多いと読みにくい

アンケート結果

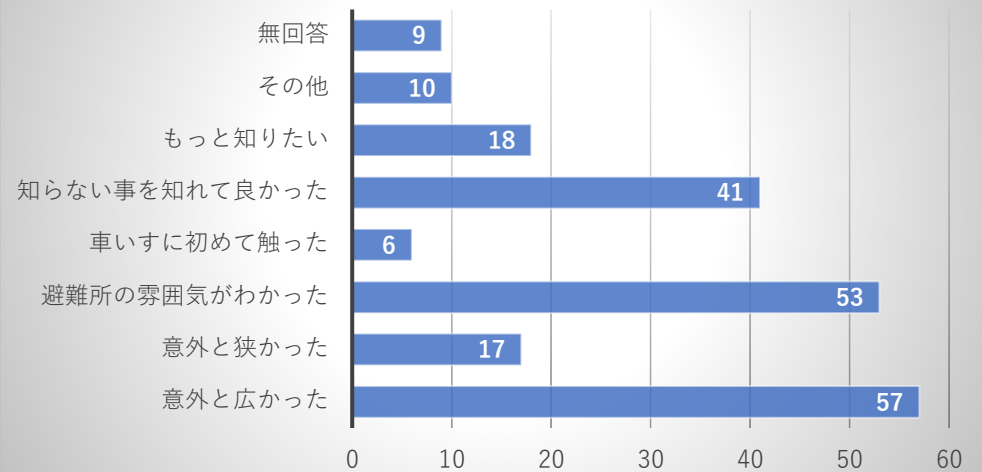
(いただいたご意見)

- ・避難グッズの食料の種類がたくさんでよかった
- ・ベッドを入れると狭く感じた
- ・段ボールベッドが意外としっかりしていた
- ・段ボールベッドを増やせばいい
- ・参考になる情報が多かったので、備蓄品のリストや家庭内も安全な避難所のような部屋が作れるように持ち帰りできるプリントか何かあればうれしいです
- ・段ボールベッドを初めて見た(2名)
- ・元々関心がない方も知る機会になって、とても良い取り組みだなと思いました
- ・硬かったけど痛くなかった(段ボールベッド?)
- ・展示の広さはちょうどよかった
- ・段ボールベッドが良かった
- ・段ボールベッドに乗れたのが楽しかった
- ・車いす目線で見れたのが良かったです
- ・災害備蓄グッズの展示がよかった

④展示はいかがでしたか？(複数回答可)

- ・無回答 9人
- ・その他 10人
- ・もっと知りたい 18人
- ・知らないことを知れてよかった 41人
- ・車いすに初めて触った 6人
- ・避難所の雰囲気がわかった 53人
- ・意外と狭かった 17人
- ・意外と広かった 57人

展示はいかがでしたか (複数回答)



市政出前講座受講

福祉局 福祉部 重層的支援推進担当を講師にお招きし、昨年度の続きとして 『避難行動要支援者の避難支援について』 の学びを深めた。





講座後半は予定を超過していただくほど、
活発な質疑応答が交わされた。
受講後に寄せられた感想にも各委員の思
いが表れた。

市政出前講座感想アンケートより

福祉避難所や避難場所にどれ程の設備があるのか、詳しく知れたかった。

「要支援者名簿」と「災害時個別避難計画書」を連動させて、有事の際にパッと使いやすいものにして欲しい。

災害に備えて尼崎市、自治会、民生委員、その他関係部署がどのような連携をとって実際行うか、もう少し深いところを聞きたかった。

「個別避難計画書」は現在どのくらい集まっているのか。

「個別避難計画書」の個人情報に該当する項目への記入・提出をためらう方への対策はあるのか。

難病患者・障害者の避難支援には、各部門や家族、関係者を入れての避難支援に関する情報交換会が必要では。

尼崎市のHPには「災害時要援護者支援」に関する内容がいろいろ記載されているが、住民へのPR、教育等が不足しているのではないか。

パンフレットなどでの啓発は良いが、障害者を対象とするだけでなく、地域の施設や、学校、法人など、障害者を知らない人たちに向けて行って欲しい。

避難支援活動に関して、熱心な地区とそうでない地区との差があるように感じる。また、横のつながり（連携）が不足しているように感じるが、対策はあるのか。

令和6年度のまとめとして

「ミーツ・ザ・福祉」への参加

初めての試みだったが、次のように肯定的な感想も多く、改善点も確認した。参加頻度等については、今後検討していきたい。

① 展示・クイズなどの体験形式とパネル展示など内容豊富にできた、楽しく過ごせた

② 簡易トイレや段ボールベッドなどを実際に見られてよかった、良い体験ができた

「市政出前講座」

学びを深める機会となっている。今後の継続やテーマについては、これまでの資料も活用しながら検討を重ねていきたい。

・・・感想はアンケートで前述

令和7年度の取り組みについて

- 今年度はこれまでの学びを活かして、避難所設営の訓練を実際に行う。
- 部会を通して、各委員周辺の課題抽出を行い、それをさらに掘り下げた活動も行う。